

# スマートOBD

## Windowsタブレット



# セットアップマニュアル

Rev.3

この度は、スマートOBDをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本書では、Windowsタブレットで検査用VCI“V200”を使用するための初期設定をご案内しております。

OBD検査には、別途“特定DTC照会アプリ”のインストールが必要です。  
利用申請・ソフトウェアの入手など、詳細は独立行政法人自動車技術総合機構が運営する『OBD検査ポータル』をご覧ください、

URL <https://www.obd.naltec.go.jp/>

掲載内容は2024年3月現在のものです。  
製品仕様の変更や、アップデートによって表示が異なる場合がありますのでご了承ください。

# 目次

---

- 1. Windowsの初期設定 … P. 2
- 2. インターネットに接続する … P. 6
- 3. Windowsのライセンス認証 … P. 8
- 4. Windowsを最新にする … P. 9
- 5. V200ドライバのダウンロードとインストール … P.10
  - 5-1. (参考)V200マニュアルへのアクセス操作
- 6. V200を接続する … P.12
- 7. 本製品の仕様 … P.13
- 8. OBD検査の実施にあたって … P.14

---

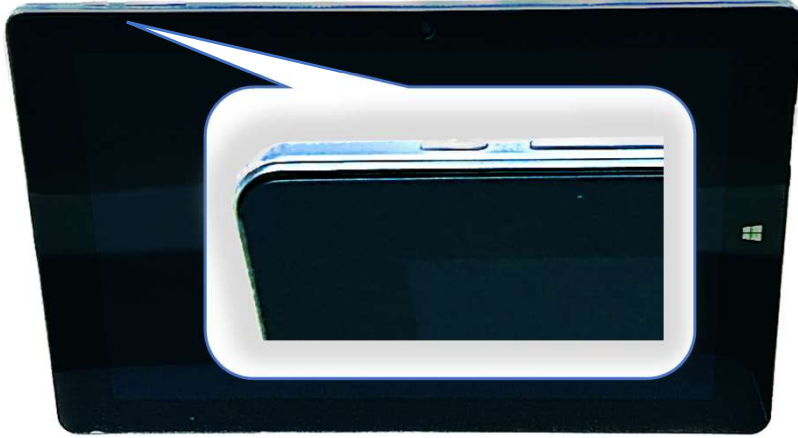
スマートOBD (V200, Windowsタブレット) をお買い求めの方は本書1～6の手順でセットアップを行ってください。

Windowsタブレットのみをご購入の方は、本書1～4を実施してください。


V200以外の検査用スキャンツールのセットアップ手順は、ご使用のスキャンツールメーカーまたはお買い求めの販売店へお問合せください。

特定DTC照会アプリを設定する前に、本書8をご確認ください。

# 1. Windowsの初期設定



## 1. タブレットを起動

Windowsロゴを右側にして本機を置き、上側面の左端にある電源ボタンを長押し（5秒）します。



## 2. 言語の設定

上から6番目の **日本語** を選択、右下 **はい** をタップします。



## 3. 地域の設定

**日本** を選択し、右下 **はい** をタップします。



## 4. キーボードの設定

**Microsoft IME** が選択されていることを確認し、右下 **はい** をタップします。



### (2つ目のキーボード)

2つ目のキーボードは必要ありません。

右下 **スキップ** をタップします。



## 5. ライセンス契約の締結

マイクロソフト ソフトウェア  
ライセンス条項 を確認してください。

右下 **同意** をタップします。



## 6. ユーザの名前を設定

名前..... をタップし、画面にキーボードを表示します。ユーザ名を入力してください。サンプルとして検査員にしています。入力完了後、キーボード右上の

**X** でキーボードを消します。

**次へ** をタップします。

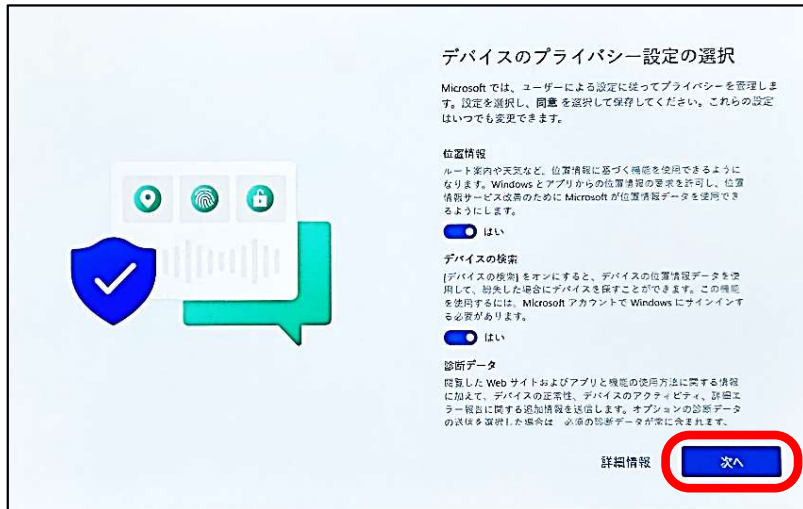


## 7. 起動パスワードの設定

パスワード..... をタップし画面にキーボードを表示して入力します。


空欄で設定すると起動時にパスワード入力不要。

**次へ** をタップ。

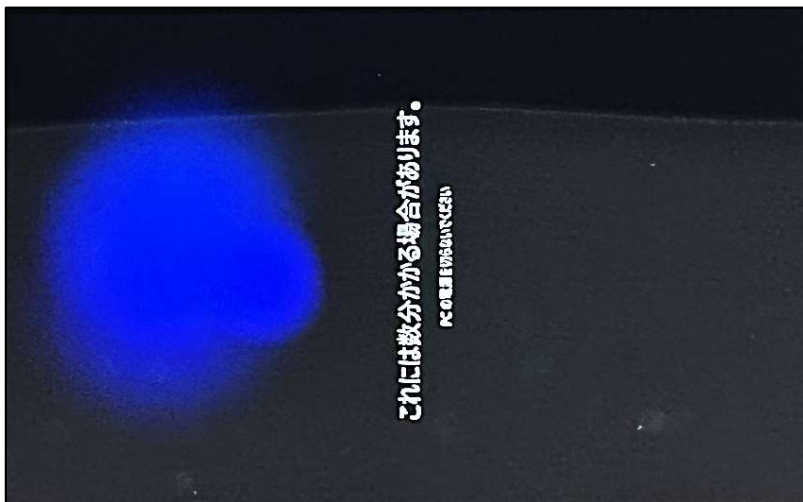


## 8. プライバシーの設定

各項目の内容を確認し、トルグボタンを押して切替します。

特にわからなければ全て  はいで構いません。

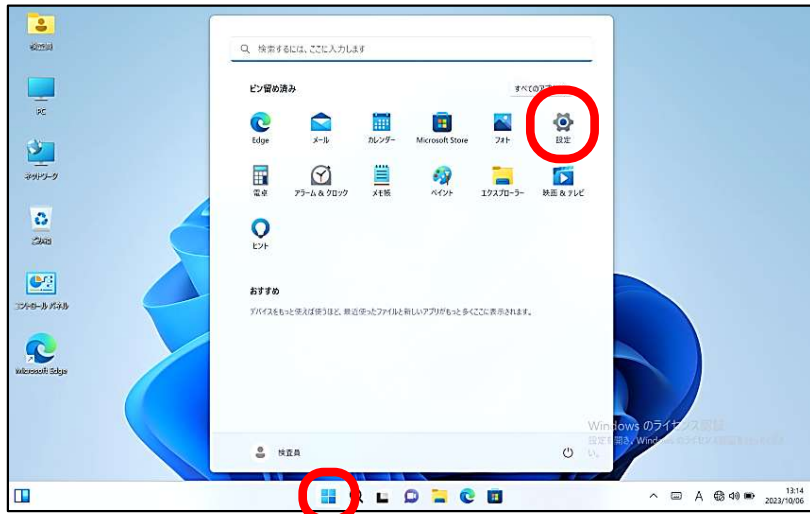
(設定に数分かかります)



## 9. ホーム画面表示で完了




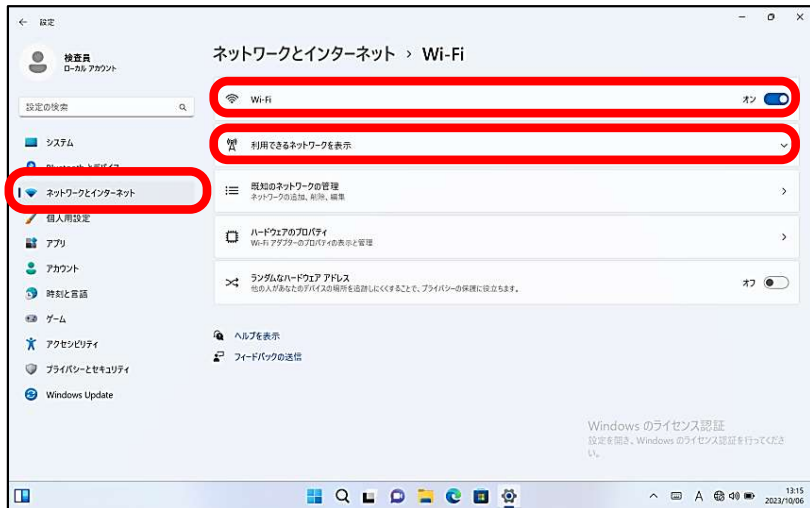
# 2. インターネットに接続する




## 1. 設定を開く

スタートボタン  をタップし、スタートメニューを開きます。

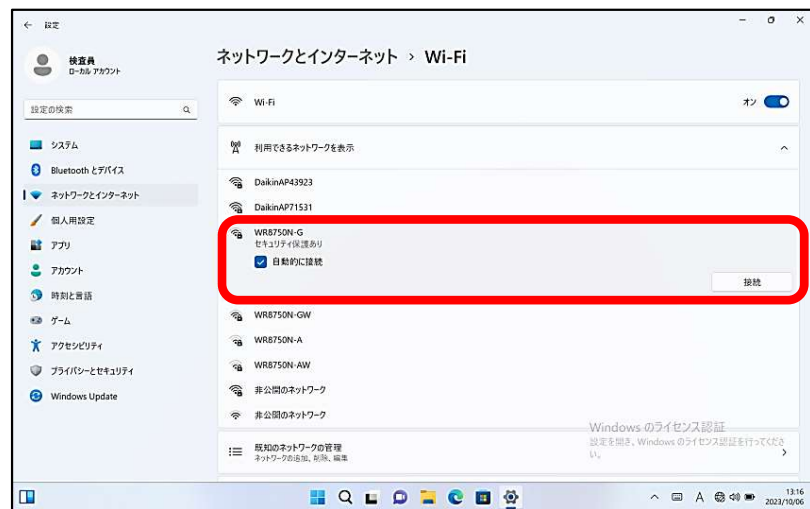
設定  をタップして設定を起動します。



## 2. ネットワーク設定


左列の  ネットワークとインターネット をタップして、Wi-Fi 設定画面を開きます。

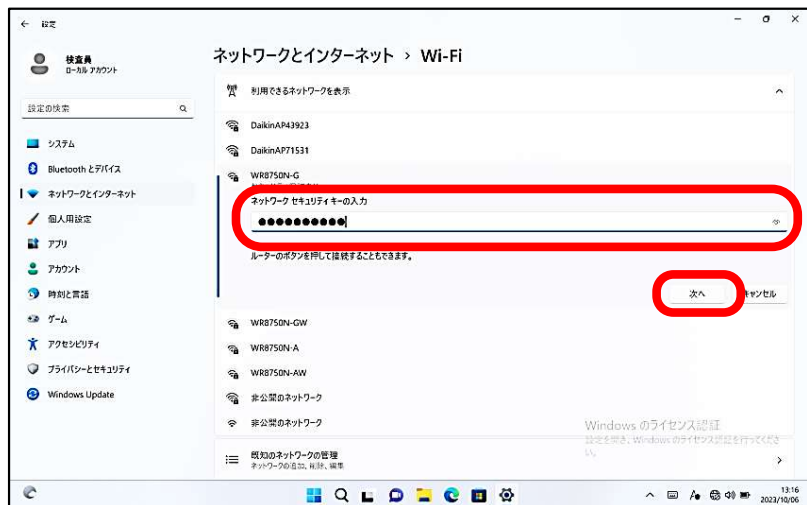
Wi-Fi が オン  であることを確認し、**利用できるネットワークを表示** をタップして表示します。



## 3. ネットワークの選択

使用するネットワークのSSIDをタップし、 **自動的に接続** となっていることを確認する。

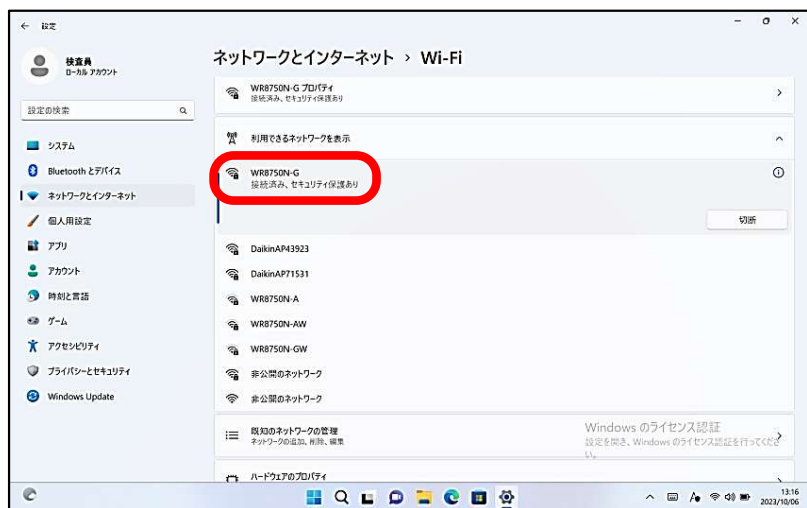
 をタップする。



## 4. セキュリティキーの入力

設定されているセキュリティキー（ネットワークのパスワード）を入力して、キーボードを閉じる。

 をタップする。



## 5. 接続状態の確認

接続先SSIDの表示が



ネットワーク名

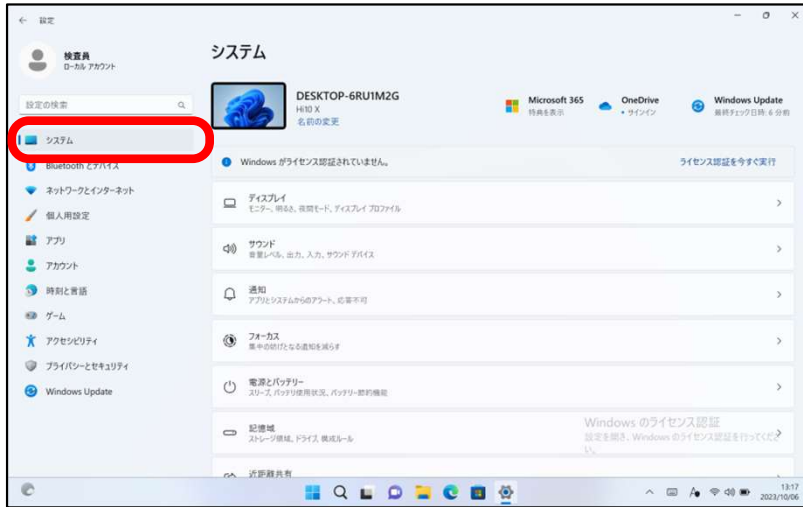
接続済み、セキュリティ保護あり

となっていることを確認します。


お使いの無線ルータによっては、ボタン操作で接続できる場合があります。取扱説明書をご確認ください。

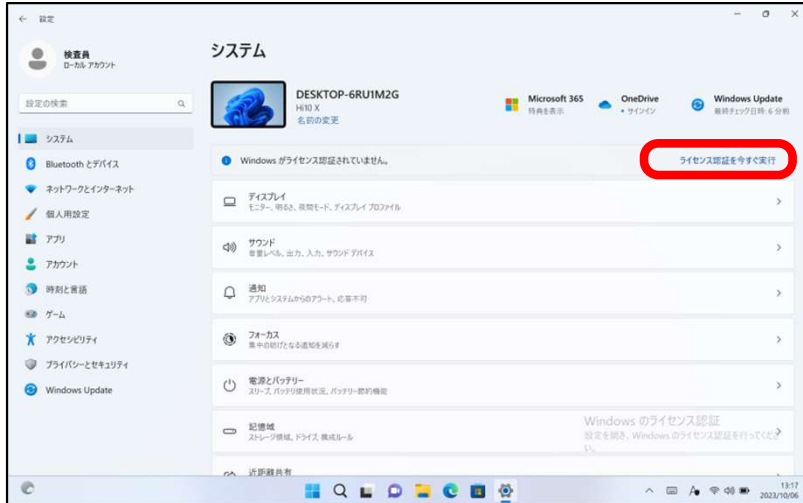


# 3. Windowsのライセンス認証



## 1. システム設定を開く

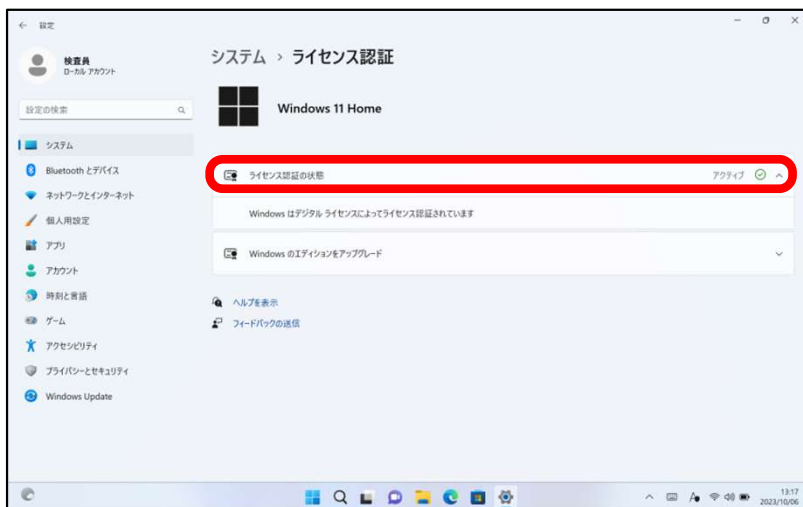
設定画面より  システム をタップして、システム設定画面を開きます。




## 2. ライセンス認証を行う

画面右上 **ライセンス認証を今すぐ行う** をタップします。

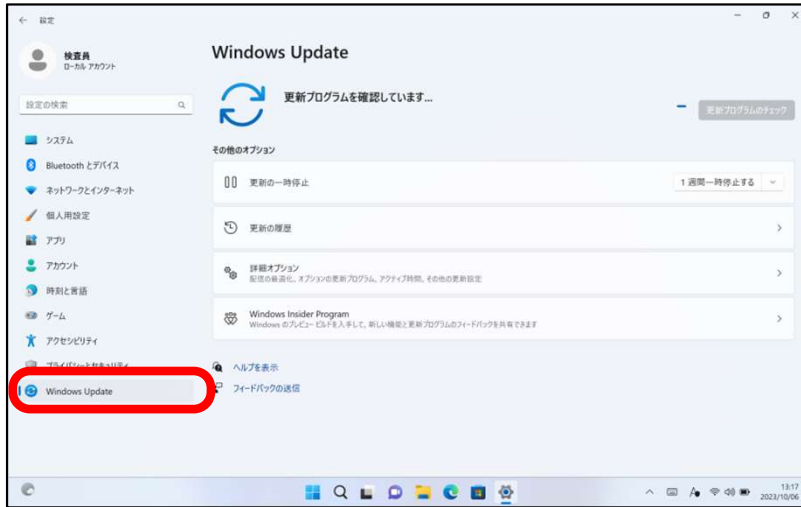
インターネットに接続された状態で行うと数分で完了します。




## 3. 認証状態の確認

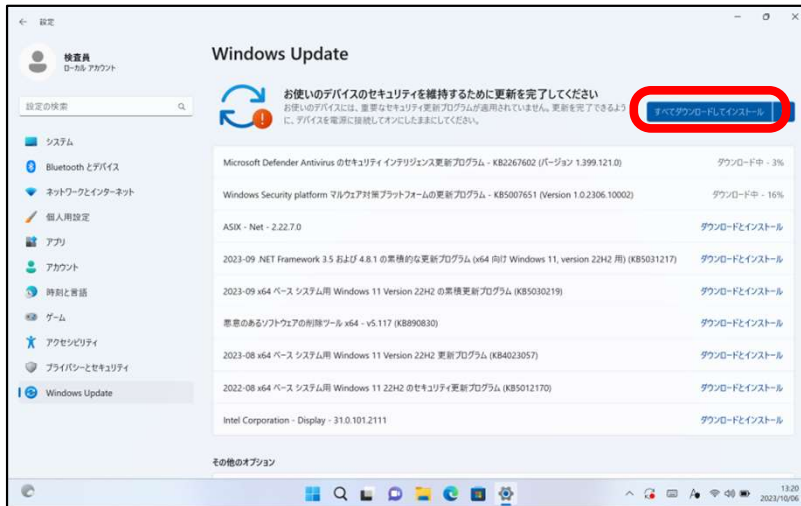
ライセンス認証の状態 が **アクティブ**  になれば完了です。

# 4. Windowsを最新にする



## 1. Windows Updateを開く

設定画面より  Windows Update をタップして、アップデート画面を開きます。



## 2. 全ての更新を行う


画面右上 **すべてをダウンロードしてインストール** をタップします。

更新データの数にもよりますが、ダウンロードに1時間、再起動後のインストールに1時間、またはそれ以上のかかります。再起動を複数回行う場合があります。



## 3. 更新状態を確認

再度Windows Updateを開き **更新プログラムのチェック** をタップ。

 **最新の状態で** と表示されたら完了です。

## 5. V200ドライバのダウンロードとインストール

V200を使用するには、ドライバ・ソフト「Maxi PC Suite\_JP」をダウンロードおよびインストールする必要があります。

詳細はAUTELのWebサイトに掲載のマニュアルをご覧ください。

各マニュアルは下記のページに掲載されています。

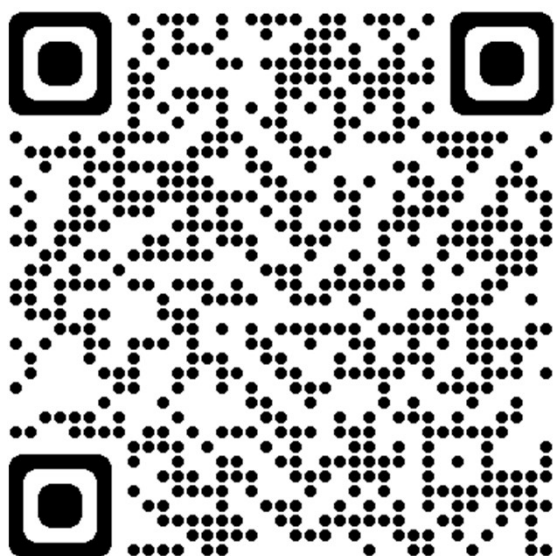
AUTEL Webサイト <https://www.autel.com/jp/>

Home > 製品一覧 > スキャンツール  
> MaxiVCI V200 > ダウンロード

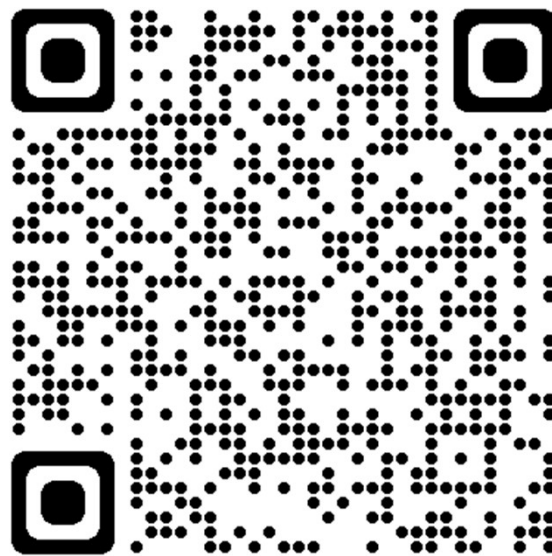
「01 MaxiVCI V200\_クイックガイド(3)」

「02 MaxiVCI V200\_OBD\_MaxiPCSuit\_JPのダウンロード手順(1)」

「03 MaxiVCI V200\_特定DTC照会アプリダウンロード手順(4)」



AUTEL Webサイト



V200製品ページ

次のページでは、Webサイトの表示と、マニュアルへのアクセス操作を参考案内しています。

## 5-1. (参考)V200マニュアルへのアクセス操作




1. AUTELのWebサイトのスキャンツールの製品情報を表示する

タスクバーの  をタップしてEdgeを起動します。

AUTELのWebサイトへアクセス  
<https://www.autel.com/jp/>


上部の  をタップすると

出てくる項目から  をタップしてアクセスします。




2. V200の製品情報を開く

スキャンツール製品の一覧より、V200の写真を見つけます。

 をタップして、製品情報を表示します。

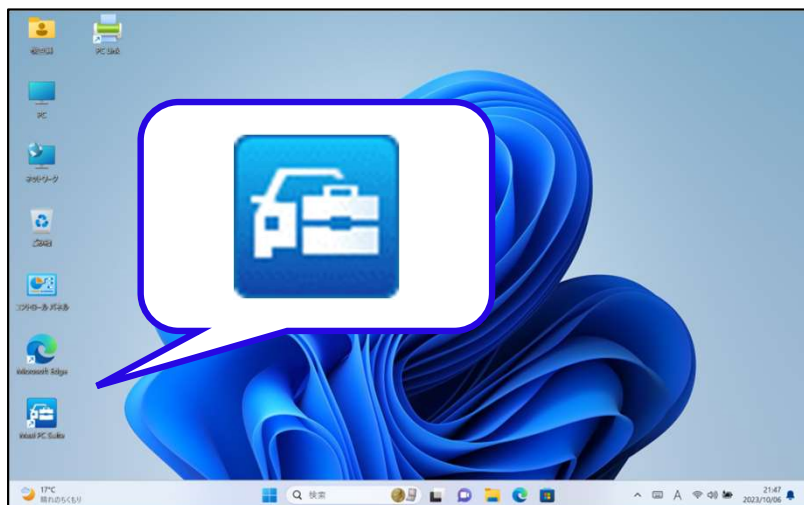


3. V200のダウンロードページを表示する

各種製品ページの  をタップすると、各種マニュアルが表示されます。

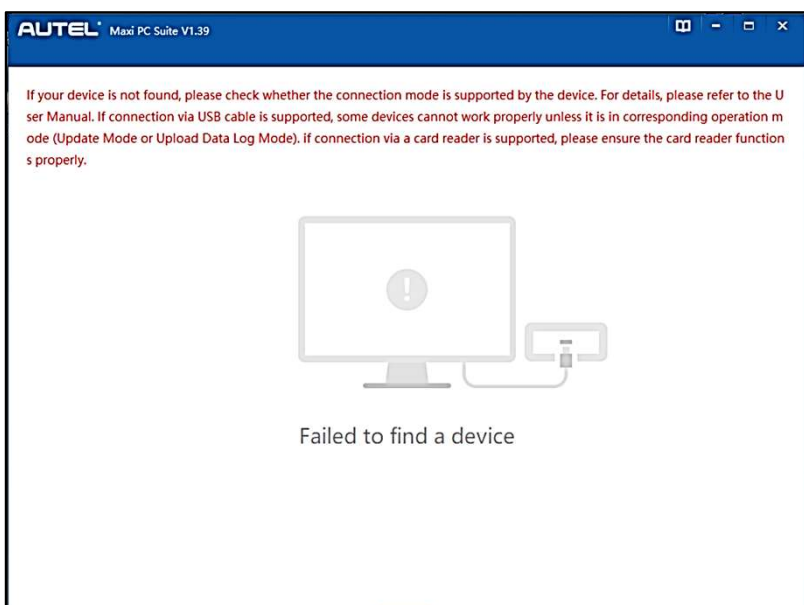


# 6. V200を接続する



## 1. Maxi PC Suite\_JPを起動する

デスクトップのアイコンをタップしてMaxi PC Suite\_JPを起動します。



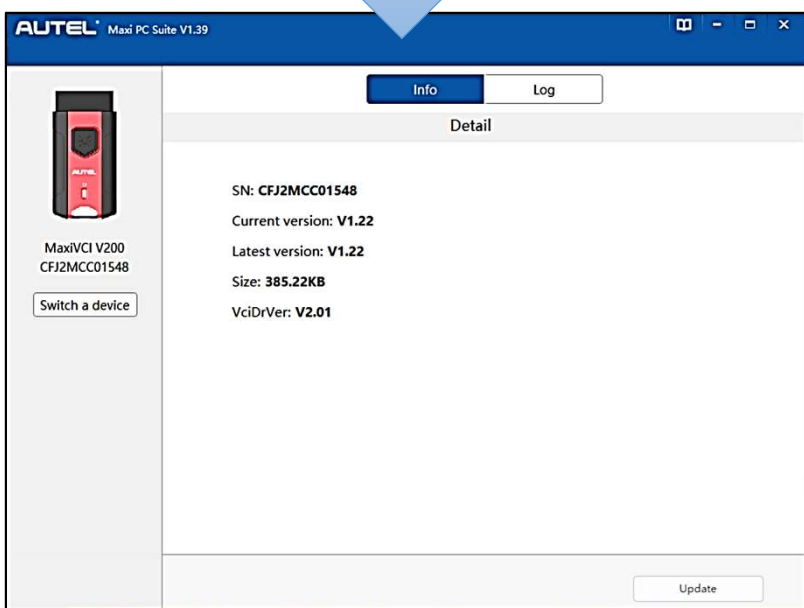
## 2. V200を接続する

本機の側面USB(TypeC)ポートに、V200をUSBケーブルで接続してください。

Maxi PC Suiteの画面表示が、

“Failed to find a device” から

“MaxiVCI V200” に変わります。



この画面でファームウェアおよびドライバのバージョンを確認してください。

検査用スキャンツールとしての型式認定は

ファームウェア

Current version: V1.22

ドライバ

VciDrVer: V2.01

で取得しています。

(2024年3月現在)

# 7. 本製品の仕様

製品名	スマートOBD Windowsタブレット
オペレーティングシステム	Windows 11 Home
プロセッサ	Intel® Celeron® N4120 CPU (1.10GHz/最大2.60GHz)
ディスプレイ	10.1型タッチパネル搭載IPS液晶 (WUXGA：1920×1200ドット)
メモリ	LPDDR4 8GB
グラフィックスプロセッサ	Intel® UHD Graphics 600
内蔵ストレージ	SSD 128GB
光学ドライブ	非搭載
無線通信機能	802.11a/ac/b/n 2.4/5GHz Wi-Fi Bluetooth5.0
外部接続端子	USB (TypeC) ×2 (充電兼用)、microHDMI ×1 3.5mmイヤホンマイクジャック ×1 microSDカードスロット ×1

## ご使用中の Maxi PC Suite をご確認ください



Maxi PC Suite



### グローバルドライバ

検査用スキャンツールの型式認定より上位のファームウェアが配信される可能性があります。  
本書に従い、OBD検査専用ドライバへ変更が必要です。



Maxi PC Suite\_JP



### OBD検査専用ドライバ

OBD検査専用ドライバがインストールされています。  
そのままご使用ください。



# 8. OBD検査の実施にあたって

## VCIのアップデートは行わないでください



※ 検査用スキャンツールとしての型式認定は  
ファームウェア Current version: V1.22  
ドライバ VciDrVer: V2.01  
で取得しています。

異なるバージョンにしてしまうと認定の  
対象外となります。

アップデートが表示された場合でも、  
実施しないで下さい。  
(2024年3月現在)

## OBD検査の実施には専用ソフトが必要です

OBD検査の実施には、事前に“事業場ID”の申請を行い、  
本製品へ“特定DTC照会アプリ”のインストールが必要です。

詳細は『OBD検査ポータル』をご確認ください。

<https://www.obd.naltec.go.jp/>

事業場IDの申請、および特定DTC照会アプリのインストール、設定に関するお問い合わせは、  
販売店ではお答えできません。

『OBD検査ポータル』内、整備事業者様向け問い合わせ窓口へご相談ください。

## 特定DTC照会アプリの動作環境

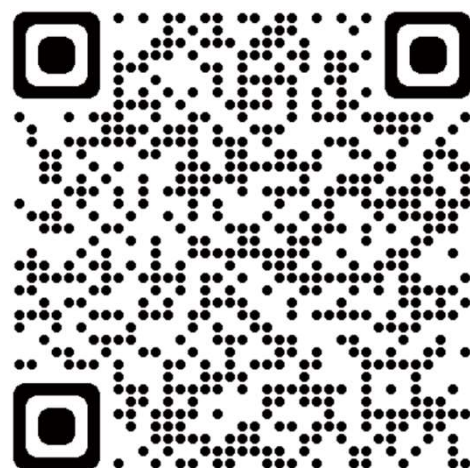
WindowsがインストールされたPCまたは  
タブレットは、動作環境を満たす必要が  
あります。

OBD検査ポータルの記載を必ずご確認  
ください。

OBD検査ポータル

ホーム > 整備事業者の方 > OBD検査で使用する機器

<https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/>



OBD検査で使用する機器

***SMART DIAG***

**株式会社スマートダイアグ**

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-8 オフィス新横浜806

TEL: 045-620-4846 FAX: 050-3458-1795

<https://smartdiag.jp/>